昭和37年10月15日 第36号 （1）

人生訓

親切は…………
……………社会を
つなぎ合せる…………
…………金の鎖である
（ゲーテ）

THE KOHO NANKOKU
広報ナンコク

編集発行 南国市広報委員会 高知県南国市東崎1335 電461 印刷 川北印刷KK 電379

南国市の概要

昭和34年10月1日発足
面積 126.13平方粁
人口 男20,845人 女21,230人 42,075人
世帯数 10,752戸

第23回定例市議会

37年度追加更生予算 四億七千十三万円 累計
住民登録条例など二十一件を議決

南国市の第二十三回定例市議会は、九月二十九日に招集され会期を十月六日までの八日間とし、三十日休会一、二、三日の三日間、一般質問と議案説明ののち、四、五日を休会し委員会が開らかれ六日に採決する議事日程により開催された。こんどの定例市議会に提案審議された議案の主なものは、住民登録条例、市課設置条例、市営住宅管理条例などの条例一般、特別会計の追加更正予算など議案十九件、西ケ他中の敷地造成工事の請負工事契約の専決事項などの報告二件について審議され原案通り可決承認された。会期中に提案される予定であった、後任助役と固定資産評価員の同意議案は、議会との調整がつかなかったため提案されなかった。

一般会計の追加更正予算の追加額は、二千七百四十六万五千五百円で、累計額は、四億七千十三万九千五十六円となった。

単位千円（）内は追加額

〔才入〕市税一三一、五三九（九、九七四）地方交付税・〇〇 五三四（△六、〇六六）分担金及負担金九、一八四（九五五）使用料及手数料三、四九四（一〇二）国庫支出金一〇二、五〇八（三、九四三）県支出金一一、〇一一（三、三四四）寄附金三、二三二（一、〇六二）繰入金六、〇〇〇（一）雑収入八八、四四三（六、四八）公営企業及財産収入五、〇〇（一）市債一〇、〇〇〇（一〇、〇〇〇）

〔支出〕議会費一一、一三七（三一）市役所費六、七一六（一、四七三）消防費八、〇三〇（一七八）土木費[illegible]（二八八）教育費五六、三四〇一三（五一八）社会及労働施設費一二六、六七〇（一九九四）保健衛生費六、九七五（一、一二九）財産費一〇、一七二（六七五）統計調査費七一（二八）選挙費三、〇九五（四三）公債費三、〇〇五 諸支出金一〇、四九[illegible]五七六）予備費六〇〇（一〇五）

カキはうれ、その下の彼岸花は色あせ、ヤギの毛波も冬に備えてつやをました。路傍の秋は日ごとに深くなる……。（写真は里改田で）

!!赤い羽根!! 共同募金始る

市の募金目標 87万円

国民助け合い運動として、行なわれる愛の共同募金は十月一日から十二月三十一日までの三カ月間行なわれる。

この運動はいうまでもなく世の中の不幸をなくし、みんながしあわせであるようにという願いを、国民の共同の力で実現しようとするもので、この運動がはじめられてから今年で十六回この間この募金により新設され、増改築した養護施設や愛の募金により明るい新年を迎えた人達は数知れずある。

昨年の市の実績は約七十万円であったが、本年度の一般募金の目標額は、八十七万六千円にこのほど決まり市では、地区の関係者と話し合いの結果、地区別の目標額を次のとおりに決めた。

なお、県の目標額は、一般募金千七百七十一万二千円と、法人団体の大口、中口募金一千万円とに分かれ、合計二千七百七十一万二千円となっている。

しかし、募金の目標額は、決して強制的な意味をふくむものではなく、みなさんの美しい愛の心から出た、募金精神を最高度に発揚していただくことを唯一のたのみとしているための目標であり、みなさんの強い協力により、市に課せられた目標額を達成できることがのぞまれている。

昭和37年度共同募金 各地区別目標額

S.37.10 南国市

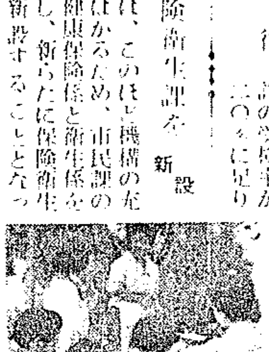
地区名	目標額
後免	41,190円
長岡西部	62,920
長岡東部	84,680
国分	29,300
野田	17,520
岩	16,060
大篠	109,480
日章	109,030
三和	82,960
稲生	54,610
前浜	37,190
十市	53,130
久礼田	56,300
上倉南部	14,840
上倉北部	17,890
瓶岩	16,680
岡豊	71,550
合計	876,290

結核撲滅運動で表彰さる

後免町婦人会

七年前から結核予防事業に協力している後免町婦人会は、このほど結核予防会県支部から表彰された。

この運動は、毎年行なわれる結核集団検診の受検率が二〇％に足りないのと、患者の多いことに気付き、始められたもので、衛生委員に協力し受付け、呼出しなど時間毎の受検成績を町別に放送し、町民の意識を高め、全家族検診済の家庭には福引を実施するなど活動を続け、いまでは九十五％と上位の成績を収めている。



（写真はその活動風景）

保険衛生課を新設

市では、このほど機構の充実をはかるため、市民課の国民健康保険係と衛生係を分離し、新らたに保険衛生課を新設することとなった。

これで現在の四課一室は、五課一室になった。

転落寸前の少女救う

実績あがる青少年補導センター

市の青少年補導センターは発足以来二カ月目になったが、実際活動を始めたのは八月十六日からで、九月三十日現在までの約一カ月間の補導状況を、このほどとりまとめたが、その状況表からみた補導の実態は、次の通りである。

◇被補導人員 五十四人（女七人）職業別では▽学生＝十八人▽有職者＝二十一人▽無職者＝十五人

◇行為の種別 ▽異性交遊＝六人（女二人）、▽盛場徘徊＝七人▽喫煙＝八人（女二人）▽家出＝四人（女三人）▽深夜外出＝十六人▽その他＝十三人

補導した事例の二、三をあげてみると、夏休み中に、学生グループが友人の家に遊びに来ての帰途、駅で煙草を喫いながら深夜まで遊び、オートバイを無免許で乗り回したものや、家出四人のうち、転落寸前の無職の少女と、女子中学生の二少女を補導し、無事家庭に帰えした。

また、家出していた小学生一人は家庭、環境が悪くたびたび家出することがわかったので、児童相談所に預け、近く養護施設に入いることになっている。同センターが、補導を始めて以来、映画館への無料入場、盛り場、パチンコ店への学生の出入りなどは、次第に減少し、その成果をみせており、今後は、市街地以外へも機動補導に回る計画をたてており、一般市民の協力がのぞまれている。

少年補導協助員

南国署管内で十月一日から少年補導に協力する人たちが、次のとおり決定した。

谷義一（商業）野村義実（同）松本正重（鋳造業）高村幸豊（理髪業）笠原精一（珠算教師）高畑春子（主婦）谷田豊寿（団体役員）山崎英子（主婦）吉村一男（ブリキ業）十川富恵（主婦）三宮達郎（農業）橋田良寿（同）武市千鶴子（主婦）松下秋義（農業）橋田憲遊（同）中田速雄（養鶏業）村田英之（農業）黒岩顕美（理髪業）伊尾木延道（農業）福永伝（染物業）鍋島正一郎（村助役）

交通標識を建てる

アルバイトで 東場少年団員が

三和地区の東場少年団員は同部落で幼児がオート三輪にひかれたことから交通事故防止に乗り出し、なお事故現場と部落の県道カーブに警官の立像標識を建てることとなり、資金約九千円を部落の便所消毒のアルバイトなどでかせぎ、このほど計画どおり二基の建設を終わった。同団員は二十五人で、小学生と中学生で組織されている。

＝写真は標識を建てる東場少年団員

秋期合同慰霊祭は

三和、大篠、久礼田で

本年度の秋期合同慰霊祭は例年のとおり、三地区に分かれて行なわれることに決まった。

南部地区＝三和公民館 10月30日（午後一時）
中部地区＝大篠小学校 11月4日（午後一時）
北部地区＝久礼田小学校 11月11日（午後一時）

多数関係者の参列をのぞまれている。

小松 島内 君研修生で静岡へ

県教委では勤労青年に明るい希望を与え郷土振興の諸活動を促進するため、先進地の教育文化、産業などの実地研究や視察、現地青年との交歓によって郷土振興に寄与する知識技能を助長し、愛農精神を養い広く青年、一般社会の指導者養成のため、国内に青年を派遣しているが、本市より日章の島内征、小松岩実両君が選らばれ、10月5日から22日まで静岡、神奈川両県に派遣された。

優勝は鈴江チーム

第六回ソフト大会

市教委と県東部ソフトボール支部との共催の第六回市長旗争奪ソフトボール大会は、九月二十九、三十日にわたって篠原の県立東工業高校で開らかれ、当日は各地区の青年団や、職域から十八チームが参加し、熱戦を展開した結果、鈴江チームが優勝し、後免青年団が二位となった。

第2回南国市バドミントン大会

とき	11月17・18日 第1日午後1時より 第2日午前9時より
ところ	岡豊公民館・国府小学校
試合方法	チーム編成は地区及び職場単位とする。個人戦 トーナメント 団体戦 選手5名（内訳女2名男3名） ラケットは各人持参
参加料	1チーム150円 個人戦のみは50円
申込方法	11月10日までに南国市社会教育課へ
組合せ	11月12日午後5時より 於教委事務局
参加資格	南国市内に住居を有する者と職場を有する者
主催	南国市教育委員会

第2回 南国市美術展

11月11日から18日まで

出品規定 市内在住または関係のあるもの
出品部門 絵画（洋画、日本画、その他）漫画、書道、彫塑、工芸、写真、その他
作品規定 点数に制限ないが、写真は四つ切り全紙までその他の部門は制限ない。作品には陳列に必要な装置（額縁、表装など）をつけること。出品料は各部門毎に一人二点。審査を行ない入選作品のみ展示する。入選には賞状を与える。
搬入期日 十一月八日午前九時より午後四時（後免野田小講堂）
会場 後免野田小学校講堂
観覧時間 午前九時より午後五時
主催 南国市、高知新聞社